

■騒音関係対策データ

9-8 道路における遮音壁、低騒音舗装の設置状況 (平成16年度)

道路管理者	遮音壁(m)				低騒音舗装(m)	
	従来型		新型		新設	再舗装
	新設	既存改良	新設	既存改良		
国	0	0	0	0	4,950	0
日本道路公団	0	0	0	0	5,706	2,860
阪神高速道路公団	321	337	0	0	27,428	0
府 (府道路公社含む)	0	813	0	0	28,331	5,176
市	577	54	0	0	2,962	0

9-9 主要交通規制の実施状況 (平成16年度末現在)

規制種別	区間等	合 計	
		区 間	延 長(km)
歩行者用道路 (自転車歩行者用道路を含む。)		4,334 (17)	737
大型等通行禁止		5,620 (21)	2,363
一方通行		11,485	2,590
駐(停)車禁止		12,411 (111)	8,159
一時停止		63,779	—
最高速度	40~80km/h	2,382	3,532
	20~30km/h	10,333 (55)	5,321
バス優先規制		88	130
自転車歩道通行可		2,567	2,875
追い越しのための 右側部分はみ出し禁止		1,824	2,307

注) 1 ()は、地域規制数を概数で示す。

2 バス優先規制とは、バス専用道路、バス専用通行帯及びバス優先通行帯をいう。

3 大型等通行禁止とは、大型自動車等通行止め、特定の最大積載量以上の貨物自動車等通行止めをいう。

9-10 在来線鉄軌道騒音・振動対策の実施状況

対策の種類		対策の内容
防音壁の設置		242.7 km(上下線の合計)
ロングレールの敷設		933.7 km(")
弾性枕木の敷設		44.0 km(")
鉄橋の防音工事		41 ヶ所
無道床鉄橋の有道床化		420 ヶ所
レール表面の削正(H16実績)	一般部	171.3 km(延長距離)
	溶接部	2,947 ヶ所

平成17年3月31日現在

9-11 新幹線鉄道騒音・振動対策の実施状況

対策の種類		対策の内容
防音壁の設置	直型	46.9 km(上下線の合計)
	干渉型	16.9 km(上下線の合計)
	嵩上	3.8 km(上下線の合計)
バラストマットの敷設		39.1 km(上下線の合計)
弾性枕木の敷設		4.9 km(上下線の合計)
レールの重量化		59.5 km(上下線の合計)
鉄橋の防音工事		10 ヶ所(全線)
民家防音工事	80デシベル対策	1,292戸/1,295戸(完了戸数/対象戸数)
	76デシベル対策	2,204戸/2,697戸(完了戸数/対象戸数)
民家防振工事		264戸/304戸(完了戸数/対象戸数)

平成17年3月31日現在